



2022年度 児童発達支援 自己評価 集計結果

公表日: 令和4年12月15日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	✓		・スペースに余裕はない(特にグループ活動)が内容に応じてパーテーションを使って区切っている。	・テーブルや荷物の整理をしながら空間の確保を図っている。
	2 職員の配置数は適切であるか	✓		・フリーで動けるスタッフの配置をしているが、曜日や時間帯によっては余裕がない。	・スタッフの空き時間に事務処理をするようにし、全員で共有するようになっている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	✓		・本人が分かり易いように同じ場所を使う様になっている。 ・スケジュールカード等で課題を分かり易い様にしている。	・同じ場所が被る時には、似たような環境になるように調整をしている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	✓		・日々の掃除や消毒にて清潔面に気を付けている。	・大がかりな掃除は難しいが、日々の中で少しずつ手を付けるようにしていきたい(清浄機や換気扇等の周囲の汚れ等)
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	✓		・打ち合わせや振り返りの中で情報等の共有を行っている。 ・他事業所とは、メール等にて共有を図っている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	✓		・カンファレンス用紙と共に適宜保護者とのやり取りの中で意向等を聞き取っている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	✓		・ホームページに公開している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	✓		・外部評価は行っていないが、事業所内ではスーパーバイズの機会に療育に関しての意見をいただく機会を設定している。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	✓		・事業所内研修を行っている。 ・外部への研修についても積極的に参加できるように情報の周知をしている。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成しているか	✓		・カンファレンス用紙等を基に半年ごとの見直しと計画を行っている。 ・日々のやり取りの中で保護者との情報の共有を図っている。	
	11 子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	✓		・インテーク時に共通のものを使用している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されているか	✓		・適切な部分を選択しながら支援計画作成に当たっている。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	✓		・支援計画に沿った形で支援にあたっている。	・こどもの変化に敏感になり、見返していくことにも気を配る。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓		・グループ療育では、内容決めや当日の打ち合わせ等々スタッフとの密な共有を図っている。 ・個別でもアドバイスをしたり、求めたりしながら進めている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	✓		・制作、調理、屋外活動等を取り入れている。 ・季節を感じられる題材を取り入れている。 ・利用者の状況に合わせて柔軟に対応している。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	✓		・他の利用者と一緒に取り組む場面も子どもの状況や課題に配慮しながら取り組んでいる。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	✓		・朝の打ち合わせ時に流れや子供の状況等について確認をしている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	✓		・振り返りの時間に子供の様子や保護者の話等の共有を図っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	✓		・毎回記録を記入することで各自の振り返りと共に改善につなげている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	✓		・年2回実施している。 ・カンファレンス用紙や保護者の直接的な意見を踏まえて見直しを実施している。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	✓		・担当スタッフ等状況の分かっているスタッフを出席させている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	✓		・必要に応じて対応を行っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	✓		・対象のお子さんは在籍していないが、法人内では看護師が同席している。 ・継続医療受診をされている方に関しては、保護者の方から適宜話を伺っている。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連携体制を整えているか	✓		・対象のお子さんは在籍していないが、法人内では看護師が同席している。 ・継続医療受診をされている方に関しては、保護者の方から適宜話を伺っている。	・今後医療的なケアが必要な利用者出た場合を想定しておく必要はあると思う。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	✓		・必要に応じて対応を行っている。 ・保育所等訪問を実施している。 ・日々のやり取りの中で保護者との情報の共有や連携を図っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	✓		・必要に応じて対応を行っている。 ・保育所等訪問を実施している。 ・日々のやり取りの中で保護者との情報の共有や連携を図っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	✓		・必要に応じて対応を行っている。 ・定期的な連絡会へ参加するとともに連携に努めている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	✓		・手作り教室やサッカー教室、コンサート等のイベントの機会をとらえて一緒に活動する機会を設けている。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	✓		・自立支援協議会に参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓		・連絡ノートの活用とともに記録をお渡しの際のやり取りを通して共有を図っている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	✓		・アドレにて実施している。 ・心理士によるカウンセリングを随時行っている。	・概論や対象等についての知識は必要性を感じる。今後研修を予定する。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	✓		・契約時や更新時等適宜説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	✓		・年2回モニタリングを行い、支援計画の提示とともに説明にて同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓		・連絡ノートとやり取り、メールや電話等随時対応をしている。 ・状況によっては上席に報告し、対応を依頼している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	✓		・懇談会茶や茶話会を実施している。親父の会にも出席している。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓		・苦情に関してはポストの設置と共に随時受け付け、迅速な対応を心がけている。内容によっては上席の指示を仰いでいる。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓		・定期的に療育だよりを発行している。その他にもメーリングリスト等にて情報の提供をしている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	✓		・写真については、契約時を含め毎年書面にて確認をしている。 ・書類等は、鍵のかかる書庫を利用している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓		・個々の特性を等に合わせて伝え方等を行っている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	✓		・コンサートや各種イベントを開催し、地域の方々にも周知している。	
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	✓		・各種マニュアルを事業所の入口に置き、随時閲覧できるようにしている。定期的に訓練を行っている。
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	✓		・年に1回以上の訓練を定期的に行っている。	・利用者を参加させての訓練の持ち方が課題である。
43		事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	✓		・インテーク時に服薬や持病等の確認をしている。変更等の情報は適宜保護者から受けながら共有を図っている。	
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	✓		・インテーク時に保護者からの情報を頂き、スタッフ間で共有している。	・指示書の提出の有無の含めて保護者と共に検討をしていきたい。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	✓		・事業者内に事故対応手順者を提示している。	・事故に繋がらないような対応についてもスタッフ間で協議していきたい。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	✓		・虐待防止委員会を設置している。	
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	✓		・やむを得ず身体拘束に至る場合は、契約書に明記に基づき説明をしている。・身体拘束を危惧される利用者については、保護者への説明と共に個別支援計画に明記していく。	・現在対象となる利用者はいない。

2022年度 放課後等デイサービス 自己評価 集計結果

公表日：令和4年12月15日



		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえ た改善内容又は改善目標
体制・ 環境・ 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		✓		・狭さは感じる為、スペース確保のため環境整理を心掛けている
	2	職員の配置数は適切であるか	✓			・曜日によってギリギリではあるがスタッフ間の空き時間でフォローするようにしている。 ・サポートスタッフの存在は大きい為今後も必要性を大いに感じる
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	✓		✓	・フロア内の段差は無いがトイレが狭い為、不要な物を置かないなどの環境整備に努める
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか	✓			・支援計画に沿っての支援を心がけている ・始業前の打合せ、業務終了後の振り返りにて情報共有し他事業所とはメール等にて行っている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	✓			・カンファレンス用紙や日々の話の中で要望等を取り入れている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	✓			・ホームページにて公表を行っている
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	✓			・外部評価は行っていないが、事業所内ではスーパーバイズの機会に療育に関しての意見をいただく機会を設定している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	✓			・事業所内研修を行っている。 ・外部への研修についても積極的に参加できるように情報の周知をしている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			・カンファレンス用紙等を基に半年ごとの見直しと計画を行っている。 ・日々のやり取りの中で保護者との情報の共有を図っている。
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	✓			・インテーク時に共通のものを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓			・グループ療育では、内容決めや当日の打ち合わせ等々スタッフとの密な共有を図っている。 ・個別でもアドバイスをしたり、求めたりしながら進めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	✓			・制作、調理、屋外活動等を取り入れている。 ・季節を感じられる題材を取り入れている。 ・利用者の状況に合わせて柔軟に対応している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	✓			・季節を感じられるような課題の設定に心がける。 ・調理や外出等も課題の中に取り入れている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			・他の利用者と一緒に取り組む場面も子どもの状況や課題に配慮しながら取り組んでいる。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	✓			・朝の打ち合わせ時に流れや子供の状況等について確認をしている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は 改善目標
適切な支援の提供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	✓			・振り返りの時間に子供の様子や保護者の話等の共有を図っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	✓			・毎回記録を記入することで各自の振り返りと共に改善につなげている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	✓			・年2回実施している。 ・カンファレンス用紙や保護者の直接的な意見を踏まえて見直しを実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	✓			・利用者の特性に合わせた形で組み合わせている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	✓			・担当スタッフ等状況の分かっているスタッフを出席させている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	✓			・必要に応じて対応を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	✓			・対象のお子さんは在籍していないが、法人内では看護師が同席している。 ・継続医療受診をされている方に関しては、保護者の方から適宜話を伺っている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		✓		・保護者を通して情報を頂いているが、在学との情報共有は必要に応じて行っている。 ・共有する必要性と共に体制が整うと良いと思う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			✓	・要望があれば、必要に応じて対応している。 ・積極的に関わる体制が必要と思われる。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	✓			・必要に応じて対応を行っている。 ・定期的な連絡会へ参加するとともに連携に努めている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	✓			・手作り教室やサッカー教室、コンサート等のイベントの機会をとらえて一緒に活動する機会を設けている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	✓			・自立支援協議会に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓			・連絡ノートの活用とともに記録をお渡しの際のやり取りを通して共有を図っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		✓		・アドレにて実施している。 ・心理士によるカウンセリングを随時行っている。 ・概要は知っておく必要があると思う(研修等)。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は 改善目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	✓			・契約時や更新時等適宜説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓			・連絡ノートとやり取り、メールや電話等随時対応をしている。 ・状況によっては上席に報告し、対応を依頼している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	✓			・懇談会茶や茶話会を実施している。親父の会にも出席している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓			・苦情に関してはポストの設置と共に随時受け付け、迅速な対応を心がけている。内容によっては上席の指示を仰いでいる。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓			・定期的に療育だよりを発行している。その他にもメールやリスト等にて情報の提供をしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	✓			・写真については、契約時を含め毎年書面にて確認をしている。 ・書類等は、鍵のかかる書庫を利用している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓			・個々の特性等を等に合わせて伝え方等を行っている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	✓			・コンサートや各種イベントを開催し、地域の方々にも周知している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	✓			・各種マニュアルを事業所の入口に置き、随時閲覧できるようにしている。定期的に訓練を行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	✓			・年に1回以上の訓練を定期的に行っている。 ・利用者を参加させての訓練の持ち方が課題である。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	✓			・虐待防止委員会を設置している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	✓			・やむを得ず身体拘束に至る場合は、契約書の明記に基づき説明をしている。 ・身体拘束については、保護者への説明と共に個別支援計画に明記していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	✓			・インテーク時に保護者からの情報を頂き、スタッフ間で共有している。 ・指示書の提出の有無の含めて保護者と共に検討をしていきたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	✓			・事業者内に事故対応手順者を提示している。 ・事故に繋がらないような対応についてもスタッフ間で協議していきたい。